

令和2年度学校自己評価システムシート (県立北本高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力を地域社会とともに育む学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 基礎・基本を重視し、確かな学力の育成及び体力の向上を図る。 2 個に応じた進路指導を充実させ、多様な進路希望の実現を図る。 3 自主自律の精神と規律を重んじる態度を育成し、豊かな心を育む教育活動を推進する。 4 地域連携事業を推進し、生徒の社会性及びコミュニケーション力を育む。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	臨時休業の長期化に伴い、定期的に課題を指示し、家庭学習を定着させる必要がある。解除後は生活リズムの立て直しを第一とし、各教科の基礎基本を徹底することが急務である。教員の授業力向上については、引き続き取組を継続する。	生徒の学習習慣の確立と学力向上 教員の授業力向上	①登校指導、巡回指導を実施し、学習環境を整えて学習習慣を確立させる。 ②ICT機器の効果的な活用と工夫により、生徒の学習支援を充実させる。 ①校内研修や未来を拓く「学び」プロジェクト等を通じて積極的に授業公開を実施する。 ②学校及び授業アンケートを実施し、生徒の実態把握と教育活動の見直しを行う。	①欠席・遅刻・早退数は減少したか。 ②臨時休業中、通常授業時の双方で効果的にICT機器が活用されたか。 ②全県対象の授業公開及び校内研修に伴う授業公開は実施されたか。 ③授業を理解できていると回答する生徒は昨年より増加しているか。		
2	臨時休業の延長に伴い、特に3学年の進路指導に大きな支障が出ている。本校は多様な進路希望の生徒がおり、それぞれの進路実現に向けて個に応じた段階的な指導を充実させる必要がある。また1年生や2年生についても段階的指導、個別指導を充実させねばならない。	充実した進路情報の提供 段階的な個別指導の充実	①進路指導主事と連携して、進学、就職情報を各学年で共有し、生徒・保護者への情報提供、指導を充実させる。 ②生徒に働きかけ、進路資料室の利用を促す。 ①進路指導部と学年との情報交換を密にして、進路説明会等の進路諸行事を段階的かつ計画的に実施する。 ②就職、進学に係る個別指導、面接指導を充実させる。	①最新の進路情報が、生徒や保護者に対して迅速かつ十分に提供されたか。 ②各学年において進路活動で進路資料室を利用したか。 ①各学年との情報交換を密にし、進路行事を計画的に実施できたか。 ②進路指導部、学年との連携のもと、指導を充実させられたか。		
3	着実に欠席・遅刻・早退者数は減少傾向にあるものの、まだ十分な状態とは言えない現状がある。今後とも引き続き各学年の遅刻指導等の生活指導面を充実させ、あわせて社会規範意識の向上に向けた指導を徹底していく必要がある。また、部活動については加入率が6割を超えるように継続的に働きかけを行う。	生徒指導体制の整備と充実 個に応じた支援の推進と情報共有	①遅刻指導、整容指導を段階的、継続的かつ組織的に行い、あわせて交通安全指導や挨拶指導等を充実させる。 ②生徒会を中心に各委員会と連携し、行事の精選と改善を行う。また、部長会等で部活動の実態把握を行い、部活動の活性化に繋げる。 ①教育相談委員を中心として、定期的な巡回支援を実施する。また、各学年と連携して情報の共有を深め、個に応じた支援を充実させる。 ②いじめ防止に向けて情報提供や研修を行い、校内の取り組みを強化する。	①遅刻指導、整容指導、交通安全指導、挨拶指導等を実施したか。 ②昨年度の課題に基づき、行事の精選や改善は行われたか。また、部活動の加入率は上昇したか。 ①巡回支援や個に応じた支援は適切に実施されたか。 ②いじめ防止委員会が中心となり、職員や生徒に啓発的な活動ができたか。		
4	KISEP(北本市小・中・高相互交流事業)を中心に、地域との連携は概ね計画的に実施されている。しかし、特定の部署や生徒に偏る傾向があり、必ずしも学校全体としての取組とは言えない面がある。したがって、地域連携の取り組みを学校全体として広げるとともに、参加行事について精選をしていく必要がある。また、生徒募集の観点から、学校のPR活動をより効果的に進めていかねばならない。	地域・保護者との連携 地域への積極的な働きかけ	①北本市との年度当初の打合せに基づき、KISEP(北本市小・中・高相互交流事業)を計画的かつ積極的に推進する。 ②教育活動の活性化に向け、保護者との連携を深め、協力体制を充実させる。 ①広報誌の発行やHPの充実等により、本校発の情報発信を積極的に行う。 ②負担軽減の観点から関係諸行事の精選を行い、その上で校内、校外のボランティア活動や地域イベントへの参加を全校生徒に向けて促す。	①北本市と連携し、計画に基づいて実施できたか。 ②保護者の学校行事への参加を促し、教育活動の活性化に繋げることができたか。 ①広報誌は内容を充実させることができたか。また、HPのアクセス数は増加したか。 ②関係諸行事の精選は行ったか。また、ボランティアや地域イベントへの参加者は増加したか。		

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

